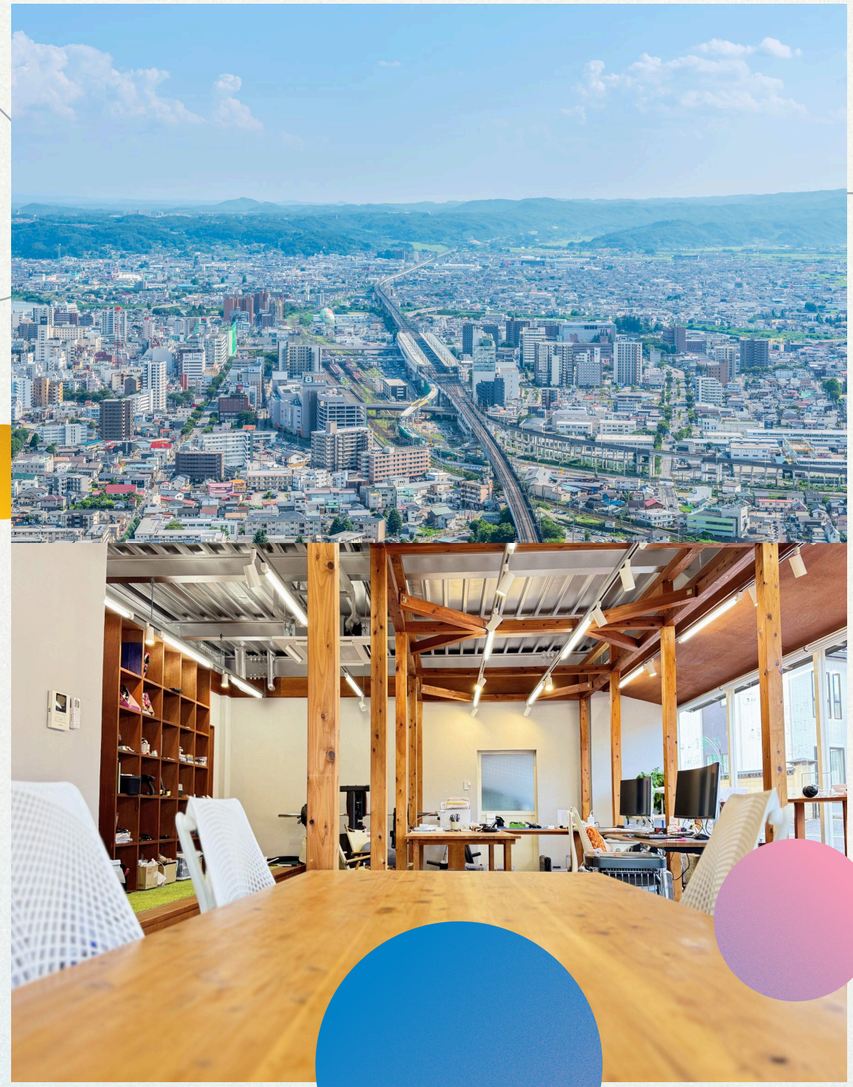
04 | CASE

共創を挑戦へ

共創から生まれたアイディアを、
次なる挑戦へとつなげる

ふくしまを拠点に
新たな挑戦や事業拡大を目指す企業へ。



「地域にも、自社にも、新しい価値を生み出す」
地域との挑戦を、持続するビジネスへ。

人と出会い、熱に触れ、心が動く。

そのワクワクの先には、**新たな事業の種**が眠っています。

共同で事業を作る。拠点を置く。採用で連携する。

ふくしまは、描いた構想を**「確かな事業」へと**

成長させるビジネスフィールドです。

本資料では、**企業の挑戦をサポートする制度や伴走体制**を、

先行企業の事例を交えてご紹介します。

CONTENTS

1. ケース別 ふくしまとの関わり方 …… P02

2. 企業がふくしまとできること …… P03

3. 活用できる支援と情報 …… P05

4. 会員サービスのご案内 …… P06

5. お問い合わせ先 …… P07

本資料で分かること

- ふくしまで事業を築く方法（拠点・投資等)がわかる
- 拠点設立や事業化の進め方がわかる
- 事業を後押しする補助金・支援制度がわかる

ケース別 ふくしまとの関わり方

ふくしまでは、企業のニーズに応じたさまざまな関わり方をご用意しています。
地域との関わりを、次の事業の可能性へ。CASE4では、拠点設置や新規事業、
採用・投資連携など、挑戦をはじめる企業のための取り組みをご紹介します。

CASE 01 ふくしまを知る 資料を見る
CASE 02 現地で学ぶ 資料を見る
CASE 03 地域と共創する 資料を見る
こちらの資料
CASE 04 共創を挑戦へ

CASE 04

共創を挑戦へ

共創から生まれたアイディアを、次なる挑戦へとつなげる

- ✓ 地域に拠点を築きたい
- ✓ 新しい事業フィールドを探している
- ✓ 採用や人材確保の幅を広げたい
- ✓ 補助金や制度を活用して事業を進めたい

数字で見る ふくしまで広がる事業の可能性

自治体連携や拠点設置など、企業によるふくしまでの挑戦が広がっています。

企業人材が地域で活躍
地域活性化企業人受け入れ実績
延べ 123人
累計59団体（令和5年～令和7年実績）

地域拠点の設立
県内へ立地した企業数
971社
平成23年以降（令和7年12月時点）

活用できる補助金の例

自立・帰還支援雇用創出企業立地補助金（国制度） 避難指示区域等を対象とした工場等の新増設支援	上限 50 億円
地域復興実用化開発等促進事業費補助金 イノベ構想重点分野の実用化開発支援	上限 7 億円
ふくしま産業活性化企業立地促進補助金 企業の工場等の立地に際し、初期投資費用を支援	最大 5 億円
ふくしま企業移住支援事業補助金 テレワーク事業者のサテライトオフィス開設を支援	最大 0.2 億円

ふくしまでの、次なる挑戦

人材でつながる
地域人材との接点をつくり、採用や人材交流を進められます。

地域と連携する
地域企業や自治体と連携し、事業や投資を通じて地域とつながれます。

拠点をつくる
ふくしまに拠点を設け、地域に根ざした事業を展開できます。

ビジネスを生み出す
地域の資源や課題から、新たな事業を立ち上げられます。

企業向けの支援制度は「福島県企業立地ガイド」↗ にてご紹介しています。

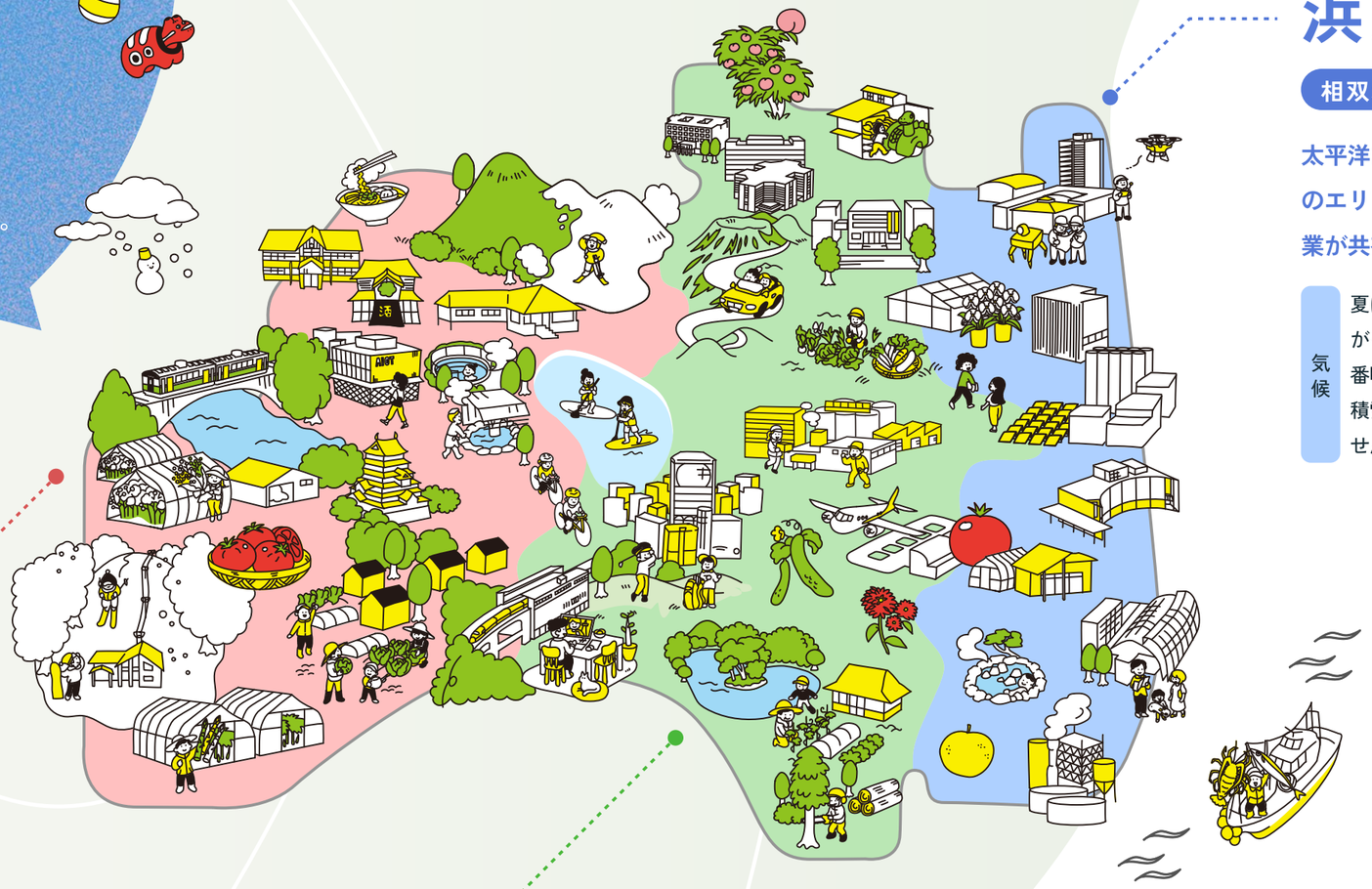
ふくしまならではの地方創生にご賛同いただける企業様からのご支援もお待ちしております。「企業版ふるさと納税」↗



ふくしまをビジネスフィールドに
事業の可能性をひらいてみませんか？

ふくしまを知ると、できることが見えてくる

多様な産業や文化、地域資源が息づくふくしま。
その全体像を、3つのエリアから
ご紹介します。



浜通りエリア

相双地域　いわき地域

太平洋に面し、温暖な気候に恵まれた福島県東部のエリア。豊かな海の恵みと、未来を拓く先端産業が共存する、いま最も動きのある地域です。

気候 夏はそれほど気温が上がらず、冬は県内で一番暖かいエリアです。積雪はほとんどありません。

特徴 水産業が盛んです。国家プロジェクトとしてのロボット産業や再生可能エネルギー産業にも注目です。

会津エリア

会津地域　南会津地域

雄大な自然と歴史・文化が共存する、福島県西部のエリア。城下町の風情と山々に囲まれた暮らしが魅力で、伝統産業と最先端IT産業の両方が根づいています。

気候 冬は積雪の多い雪国。四季の移ろいをはっきりと感じられるのが特徴です。

特徴 会津漆器などの伝統工芸や、米・酒づくり、農林業が盛んです。近年はIT産業の集積も進んでいます。

中通りエリア

県北地域　県中地域　県南地域

新幹線と高速道路が通り、東京から約80分。県都・福島市と経済の中心・郡山市を擁する、暮らしと仕事のバランスに優れたエリアです。

気候 盆地で夏は蒸し暑くなる地域も。冬は多少の積雪があります。

特徴 交通網が整い、都市機能と田園が共存。桃をはじめとするフルーツ王国で、温泉地も多く点在します。

Access from Tokyo
東京からのアクセス

- 東京 ― 東北新幹線（各駅停車）約80分 ― 郡山 ― 約10分 ― 福島
- 東京 ― 東北新幹線（各駅停車）約80分 ― 新白河
- 東京 ― 東北新幹線 約80分 ― 郡山 ― 磐越西線 約70分 ― 会津若松
- 浅草 ― 東武鉄道特急リバティ 約190分 ― 会津田島
- 東京 ― 常磐線 約140分 ― いわき ― 常磐線 約70分 ― 原ノ町

企業がふくしまとできること

拠点づくりから事業化まで、ふくしまには企業の挑戦を後押しする施設や環境が整っています。

拠点をつくる



南相馬市産業創造センター（MIC）

新産業創出に向けた研究や先端技術開発、創業・起業を支援するインキュベーション施設。市内には実証施設「福島ロボットテストフィールド」もあり、企業の挑戦を支える環境が整っています。

住 南相馬市原町区萱浜字巣掛場45-245
電 0244-26-9995　WEBサイトはこちら ↗





大熊インキュベーションセンター

旧大野小学校が起業支援拠点として生まれ変わった施設です。JR大野駅から約1.5kmの場所に位置し、大熊町民と町外から来た方々との交流の場、そしてビジネスの玄関口となっています。

住 福島県双葉郡大熊町下野上清水230
電 0240-23-7721
WEBサイトはこちら ↗



活用できる支援と情報

ふくしまとのつながりを、県のさまざまな制度や情報が後押しします。

ふくしまぐらし推進課



ふくしまぐらし推進課は、企業とふくしまがつながるための窓口です。
企業のご要望に合わせて、さまざまな情報や機会をご案内しています。
長期的な連携を検討する企業には、拠点開設や共同事業の立ち上げなど、目的に応じた連携の可能性をご提案。制度のご案内をはじめ、伴走サポートします。

お問い合わせ

福島県ふくしまぐらし推進課
TEL 024-521-7119
MAIL fuku-telework@pref.fukushima.lg.jp

WEBサイトはこちら ↗

ふくしま企業移住支援事業補助金 #補助金

首都圏等の企業が、県内にサテライトオフィス等の拠点を設け、テレワークにより事業内容や取引先等を変えずに、ゆとりある勤務環境を実現する際の施設整備費用の一部を最大2,000万円まで補助します。

対象者	パンフレットを参照ください ↗
対象経費	建物取得費、改修工事費、役務費、環境整備費、賃借料
補助上限額	〈 **補助率** 〉対象経費の3/4まで 〈 **補助上限額** 〉建物取得あり：2,000万円、建物取得なし（賃借）：500万円
問い合わせ先	福島県 企画調整部 ふくしまぐらし推進課 024-521-7119

福島県企業立地ガイド #情報収集

福島県への事業所・工場・研究拠点の立地を検討する企業向けに、工業団地や立地環境、支援制度など、企業立地に必要な情報を掲載しています。



WEBサイトはこちら ↗

ふくしまサロン

企業とふくしまとの“次の一歩”を支える会員サービス

情報も、交流も、地域との接点も。
ふくしまとつながり続けるための会員サービス。
定期的な情報発信、交流会、マッチング、
福利厚生につながる特典を通じて、
企業にとってはじめやすい関係づくりを支援します。

WEBサイトはこちら ↗



ふくしまサロン ご提供サービス

交流機会

人材育成や地域共創、新規事業などをテーマに、企業担当者同士がつながり学び合える交流機会を提供します。

新たな出会いや連携のきっかけを創出します。



メルマガ配信

補助金・制度や企業事例など、ふくしまとの次の一歩につながる情報を定期配信します。

県内ステークホルダーとのマッチング

県内企業や自治体との接点をつくり、連携・共創の可能性を広げます。

プロジェクト紹介

地域共創や人材育成の事例を紹介し、実践的な取り組みにつなげます。

個別相談

制度活用や地域連携について、専門家が企業ごとの課題解決を支援します。

福利厚生提供

イベントや地域体験を通じて、社員満足度とふくしまとの接点づくりを支援します。

取り組みをご検討のご担当者様へ

まずは、お気軽にご相談ください。

貴社の状況や目的に応じて、

最適なつながり方を担当者が個別にご案内いたします。

お問い合わせフォームはこちら

ふくしま LiNK NAVi運営事務局　｜　24時間受付・3営業日以内に返信

福島県